

平成23年3月期 第3四半期 決算説明資料

平成23年2月1日



日本調剤株式会社(証券コード 3341)

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年1月31日に発表しました「平成23年3月期 第3四半期決算短信」の参考資料として、同第3四半期累計期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

本資料では、平成22年4月～12月の累計期間を「第3四半期」と表しています。

- 1 . 平成23年3月期 第3四半期決算ハイライト

当第3四半期(4月～12月累計)の連結業績は、増収増益

売上高	828億円(前年同期比13.9%増)
営業利益	31.5億円(同29.3%増)
経常利益	28.3億円(同32.8%増)
四半期純利益	11.8億円(同17.5%増)

調剤薬局事業は好調に推移

- ・既存店において処方せん単価の上昇及び前年出店店舗の通年効果により増収傾向。
- ・出店展開を積極的に進め、新タイプの面対応薬局8店舗を含め36店舗を出店。
- ・平成22年10月に子会社のアイケイファーマシー(株)を日本調剤本体に吸収合併

医薬品製造販売事業

- ・4月からのジェネリック医薬品使用促進策により、医療機関、他の調剤薬局への販売も拡大。11月からは自社工場での自社製造製品を含む新商品投入により、製品ラインアップをさらに拡充。

医療従事者派遣・紹介事業

- ・主力の薬剤師の派遣紹介に加えて、医師・看護師を対象とした紹介事業を本格展開。



2. 連結業績概況 売上推移

調剤薬局事業が順調に売上を確保
医薬品製造販売事業はグループ外の売上で大幅増加

(単位:百万円)

	H21/4-12	構成比	H22/4-12	構成比	増減額	前年同期比
売上高	72,743	100.0%	82,821	100.0%	10,078	13.9%
調剤薬局事業	69,513	95.6%	78,760	95.1%	9,246	13.3%
医薬品製造販売事業	1,629	2.2%	2,459	3.0%	829	50.9%
医療従事者派遣・紹介事業	1,581	2.2%	1,602	1.9%	20	1.3%
その他事業	18	0.0%	-	-	18	-

セグメント間取引は相殺消去しております。

医療従事者派遣・紹介事業については、労働者派遣紹介事業から報告セグメント名称を変更しております。

連結業績の要因分析 損益計算書

薬価改定のマイナス影響を最小化し、増収増益を維持

(単位:百万円)

	H21/4-12	H22/4-12	増減額	増減率
売上高	72,743	82,821	10,078	13.9%
売上原価	60,835	69,053	8,218	13.5%
売上総利益	11,908	13,768	1,859	15.6%
販管費	9,469	10,615	1,146	12.1%
営業利益	2,438	3,152	713	29.3%
経常利益	2,135	2,835	700	32.8%
四半期純利益	1,009	1,186	177	17.5%

H23年3月期 通期計画	達成率
115,085	72.0%
95,719	72.1%
19,366	71.1%
14,835	71.6%
4,531	69.6%
4,072	69.6%
2,116	56.1%

連結業績の要因分析 営業利益

売上増加に対して、販管費の伸びは抑制傾向。
ジェネリック医薬品新製品開発の注力で、研究開発費用は増加傾向。

(単位:百万円)

主な増減要因

	H21/4-12	構成比	H22/4-12	構成比	増減額	増減率
売上総利益	11,908	16.4%	13,768	16.6%	1,859	15.6%
販管費	9,469	13.0%	10,615	12.8%	1,146	12.1%
（給与手当）	1,603	2.2%	1,774	2.1%	170	10.6%
（賃借料）	1,128	1.6%	1,065	1.3%	63	5.6%
（消費税等）	2,825	3.9%	3,168	3.8%	342	12.1%
（研究開発費）	577	0.8%	701	0.8%	123	21.5%
営業利益	2,438	3.4%	3,152	3.8%	713	29.3%

【販管費】
・消費税等
(仕入の増加)

・研究開発費
(ジェネリック医薬品
の新規開発強化)

構成比は売上に対する比率

連結業績の要因分析 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	H22/3月末	H22/12月末	増減額
流動資産	26,598	29,198	2,600
固定資産	38,080	42,302	4,222
有形固定資産	24,542	25,165	623
無形固定資産	5,698	8,943	3,245
投資その他	7,839	8,194	354
資産合計	64,678	71,501	6,823
流動負債	31,702	37,659	5,957
固定負債	21,571	21,692	121
負債合計	53,273	59,352	6,078
純資産合計	11,405	12,149	744

主な増減項目

【流動資産】

- ・現金預金 528
- ・売掛金 +116
- ・商品及び製品 +3,058

【固定資産】

- ・建築及び構築物 +281
- ・のれん +2,996

【流動負債】

- ・買掛金 +5,471
- ・短期借入金 +1,565
- ・1年以内返済長期借入金 +7,288
- ・1年以内償還社債 7,000

【純資産】

- ・連結剰余金 +758

連結業績の要因分析 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	H21/12期実績	H22/12期実績	H22/3期実績
営業活動による キャッシュ・フロー	3,353	4,855	3,833
投資活動による キャッシュ・フロー	3,227	6,336	5,338
財務活動による キャッシュ・フロー	1,403	1,022	3,434
現金・現金同等物の 増 加 額	1,529	458	1,929
現金・現金同等物の 期 首 残 高	5,706	7,636	5,706
現金・現金同等物の 期 末 残 高	7,235	7,178	7,636

当期の変動要因

【営業活動によるCF】

- ・税金等調整前四半期純利益 +2,495
- ・減価償却費 +1,627
- ・売上債権減少 +396
- ・たな卸資産増加 2,938
- ・仕入債務増加 +4,688
- ・法人税等の支払額 2,103

【投資活動によるCF】

- ・有形固定資産取得 2,107
- ・無形固定資産取得 422
- ・子会社株式の取得 3,365

【財務活動によるCF】

- ・長期借入による収入 +9,000
- ・社債の償還による支出 7,000

3. 日本調剤グループの事業動向

調剤薬局事業

技術料UPの恩恵を受け、既存店
が好調維持

【日本調剤単体 出店期別店舗売上推移】

(単位:百万円)

	店舗数	H21/4-12	H22/4-12	増減額	増減率
既存店 (~H21/3)	253	66,011	68,535	2,524	3.8%
前年出店 (H21/4~H22/3)	23	1,129	3,834	2,704	239.4%
今期出店*1 (H22/4~12)	36	-	2,152	2,152	-
その他	-	187	96	90	48.5%
計*2	312	67,328	74,619	7,290	10.8%

*1 10月1日より、旧アイケイファーマシー5店舗を合併により直営化、今期出店に含む。

*2 店舗総数には、廃止店及び調剤薬局子会社店舗は含まず。

新規出店状況

積極出店展開を継続！

第3四半期は7店舗を出店、今期累計36店舗出店

第3四半期の
開局店舗



鶴見薬局(大分県別府市)



一宮薬局(愛知県一宮市)



水口薬局(滋賀県甲賀市)



中尾薬局(神奈川県横浜市)



南阿佐ヶ谷薬局(東京都杉並区)



南小岩薬局(東京都江戸川区)



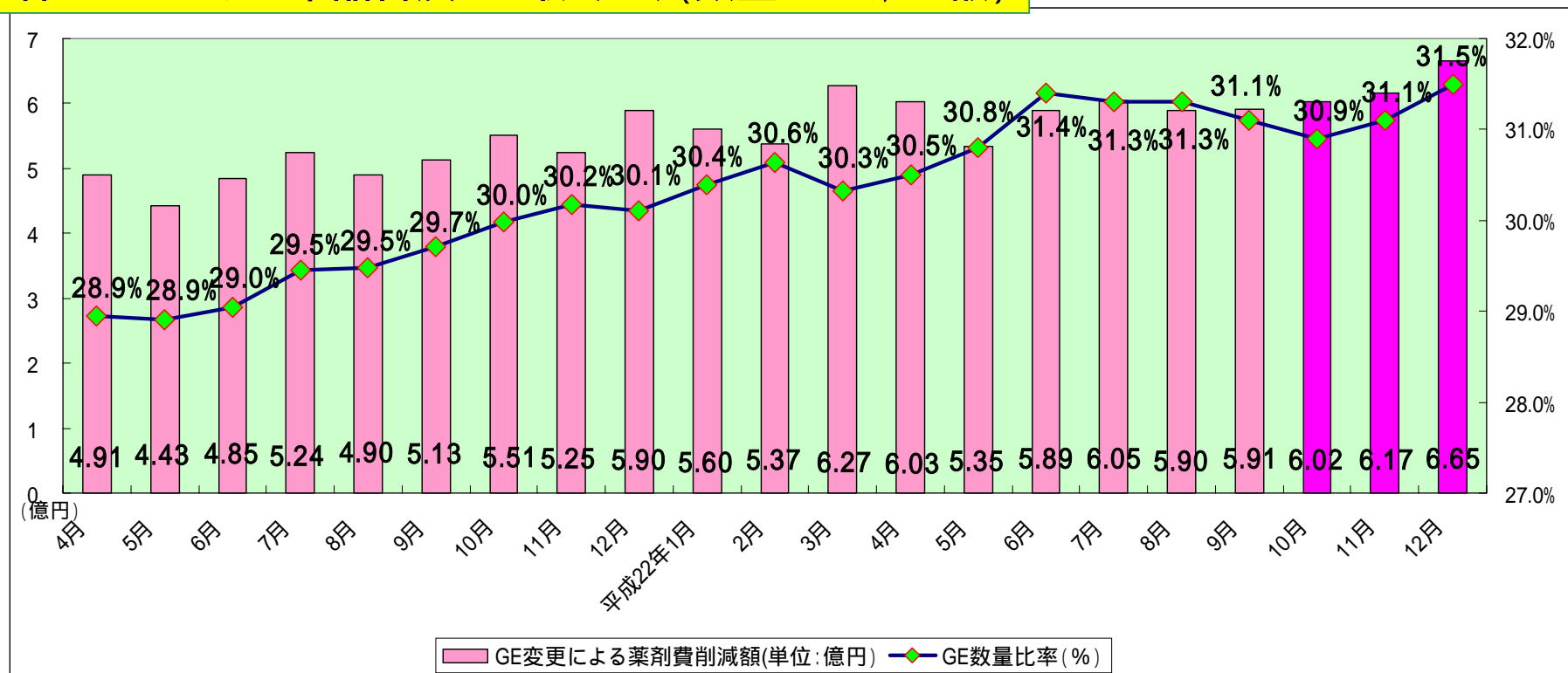
横浜本町薬局(神奈川県横浜市)



調剤薬局事業 トピックス

処方せんを発行する医療機関側で大きな変化ないものの、当社では積極的に取り組んでおり、当社におけるジェネリック医薬品使用数量は着実に増加、医療費抑制効果を発揮している。

当社ジェネリック医薬品普及への取り組み(数量ベース、金額)



日本調剤グループの事業動向

医薬品製造販売事業 日本ジェネリック株式会社

販売品目も大幅追加し売上増。黒字化は目前に。

(単位:百万円)

	H21年4月-12月	H22年4月-12月	増減額	増減率	H22年3月期
売上高(連結消去前)	3,879	5,505	1,625	41.9%	4,953
営業利益	89	32	57	-	445

トピックス

つくば第一工場から初出荷！

日本ジェネリックでは、昨年11月に自社製造製品として、茨城県つくば市にある日本ジェネリックつくば第一工場より2品目を初出荷。同社は、研究、製造から販売までのフルラインメーカーとしての大きな一歩を踏み出した。



日本調剤グループの事業動向

医療従事者派遣・紹介事業

株式会社メディカルリソース

市場停滞の中、売上増加。新事業展開に注力！

(単位:百万円)

	H21年4月-12月	H22年4月-12月	増減額	増減率	H22年3月期
売上高(連結消去前)	1,756	1,909	152	8.7%	2,351
営業利益	313	241	72	23.0%	343

トピックス

メディカルリソースが担当する「その他事業」は除いております。

高齢者住宅検索「探しくす」運営開始
 事業譲受により取得したインターネットサイト「探しくす」の運用を昨年11月より開始。調剤薬局事業など日本調剤グループ各社との相乗効果も高めながら積極的な売上拡大を図る。



● IRお問い合わせ先

日本調剤株式会社 経営企画部 IR担当まで

〒100-6737 東京都千代田区丸の内1丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

電話: 03-6810-0800(代表)

E-Mail: ir-info@nicho.co.jp

IR専用ページ : <http://www.nicho.co.jp/ir>